

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成22年10月4日（月）～10月10日（日）【平成22年第40週】の感染症発生状況

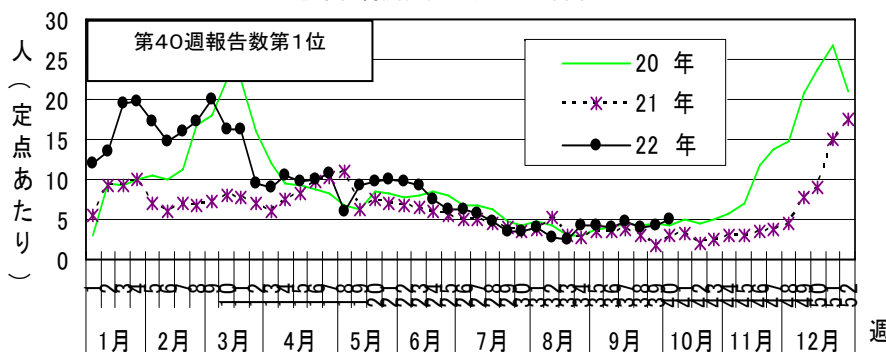
第40週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発疹でした。

感染性胃腸炎は定点あたり5.00人と前週（4.21人）より患者報告数は増加しました。

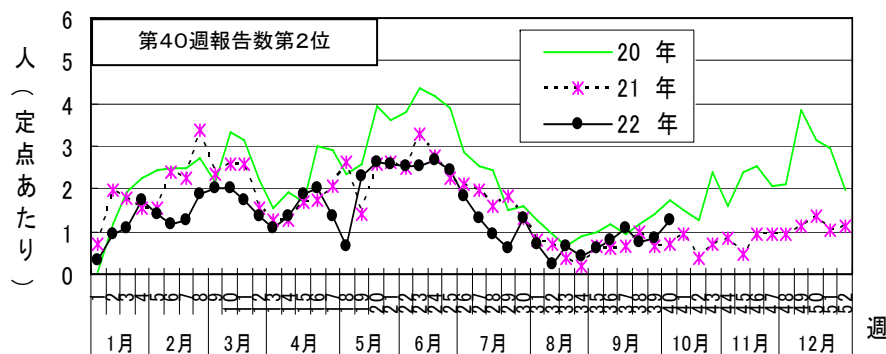
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点あたり1.27人と前週（0.85人）より患者報告数は増加しました。

インフルエンザの報告が8件（川崎2件、幸区1件、高津区1件、宮前区1件、多摩区1件、麻生区2件）あり、例年よりも早い時期から患者報告数が増加しております。今年度は流行状況をよく確認し、ワクチン接種などの感染予防対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎発生状況（3年間）



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況（3年間）

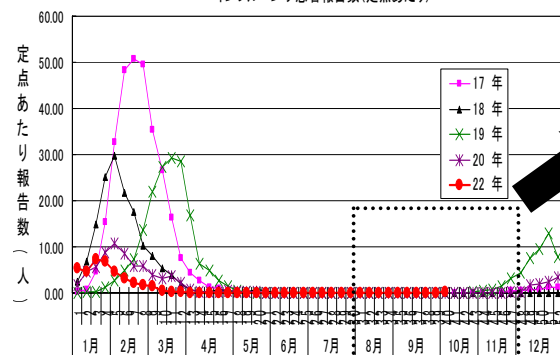


ワクチン接種はインフルエンザの流行前に！！

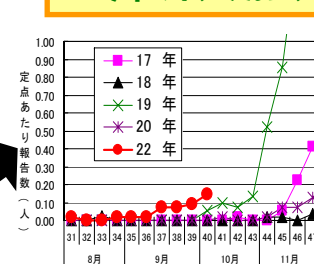
川崎市では、10月1日から、市内の約700箇所の協力医療機関において接種を開始しております。下のグラフにあるとおり、今年度は早期から患者数が増加しており、例年よりも早い時期にインフルエンザの流行が始まる可能性があります。

インフルエンザ予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。今後の発生動向に注目し、ワクチン接種の時期について検討しましょう。

インフルエンザ患者報告数（定点あたり）



今年のインフルエンザ



左のグラフは平成17年以降のインフルエンザの報告数をまとめたものです（新型インフルエンザ流行があった平成21年は除く）。8月以降の拡大グラフから、今年度は例年よりも早くインフルエンザの患者報告数が増加していることがわかります。

使用ワクチン・接種回数・接種費用

今年度は、昨年流行した新型インフルエンザと季節性インフルエンザの混合ワクチンを接種することができます。接種回数は、13歳未満の方は2回、13歳以上の方は1回（著しく免疫反応が抑制されている場合は2回）となっております。

回数	接種費用	
1回目	3,600円	
2回目	1回目と同じ医療機関 2,550円	1回目と異なる医療機関 3,600円

※接種費用の助成制度もありますので、詳しくは次まで御連絡ください。

みんなで心がけよう！せきエチケット！！

～病気をうつさない思いやり～

せきをするときは、人から離れ、口や鼻をティッシュやハンカチで押さえるようにして、ウイルス等が飛散しないように心がけましょう。

《あとで手洗いも忘れずに！》

<川崎市ホームページの紹介>

(パソコン) <http://www.city.kawasaki.jp/35/35sippei/home/kansen/wakutin/index.html>

<問い合わせ先の紹介>

健康福祉局健康安全室 ☎044-200-2412、☎044-200-2692

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）

